

2007 年度

科目名 創作ⅡB	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 佐藤 愛弓
授業テーマ はじめての短歌		
授業の概要と目標 私たちは日々いろいろなことを、感じたり、考えたりしている。書かなければ自分でも忘れてしまうような日々の思いを、携帯電話などを使って短歌にする若い人たちが今、増えている。短歌は、三十一文字で気持ちを表現するという文芸であり、字数以外にはルールはない。この授業では、短歌を使って自分の気持ちを自由に表現することを習得する。		
評価方法 出席と、授業中に課する短歌、他の参加者の短歌に対するコメントを総合的に評価する。 (授業の3分の1以上欠席した者には単位を認めない)		
テキスト 指定なし	著者	出版社
参考書 指定なし	著者	出版社
授業スケジュール・内容 毎回前半は、10代、20代の歌人の作品を中心に、良い短歌、面白い短歌を紹介して、解説する。 例 あなたへの手紙を書いて引き出しにしまってそのまま忘れるつもり (加藤千恵『たぶん絶対』) いつどこで誰といたってあたしだけ2センチくらい浮いてる気がする (加藤千恵『ハッピーアイスクリーム』) ひらがなの多いあなたのメールにはさんきゅとか書いてありきゅんとくる (佐藤真由美『きっと恋のせい』) 後半は、それぞれが作ってきた短歌を無記名でプリントにして読み、コメントしあう。 期末に後期に作った短歌をすべて集め、連作にして提出する。		